

チャペル週報

わたしが喜ぶのは
愛であっていけにえではなく
神を知ることであって
焼き尽くす献げ物ではない。

(ホセア書 6:6)



2009.11.24~11.27 No.22
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月24日(火) 神 上 田 直 宏 (M2)
文 音楽チャペル・ハンドベルクワイア
社 秋の音楽チャペル④ ゴスペルクワイア P O V
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 人間を考える④ 中 川 慎 二 (経済学部准教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
教 田 淵 結 (宗教主事)
総 Joseph DeChicchis (総合政策学部教授)

11月25日(水) 神 榎 本 て る 子 (神学部准教授)
社 共に生きる④ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 音楽チャペル (バロックアンサンブル)
人 異文化と私⑩ 中 野 陽 子 (人間福祉学部准教授)
理 映像で学ぶクリスマス
総 Yuri Tijerino (総合政策学部准教授)
短大 山 本 伸 也

11月26日(木) 神 キリスト教音楽に触れよう2 水 野 隆 一 (神学部教授)
文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
社 バンドで歌うチャペル ― ウルフルズ特集
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 人間を考える⑤ 杉 山 直 人 (経済学部教授)
商 English Chapel Christian M. Hermansen (宣教師)
総 献血運動
短大 収穫感謝礼拝

11月27日(金) 西宮上ヶ原キャンパス
学部合同アドベントチャペル
於：中央講堂
教 広 渡 純 子 (短大学長)
理 クリスマスの賛美歌をおぼえよう！

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
11月27日(金)アドベントを迎えるにあたって(11/29) 浅 野 淳 博

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於：宗教主事室

私の中の関西学院

室 谷 道 義

2010年3月末をもって定年退職を迎える。1967年4月に学院に奉職し、大学生時代の4年間を加えると、学院生活は46年間にもなる。大学2年の時に東京オリンピックが開催されるなど、当時の日本社会は、現在の中国のように社会経済が拡大・成長期にあり、大学教育も量的拡大と大衆化が社会的に求められた。それまでの大学の管理運営に対する批判や学生参加の要求が各大学に突きつけられ、全国的に大学紛争の波がひろまった。学院でもキャンパス封鎖を解除するために、「廃校か否か」を問うアンケートが全学生に出され、その後、「関西学院大学改革に関する学長代行提案」がまとめられ、改革が推進された。あれから40余年、日本社会は、少子高齢化や経済の低成長時代が到来し、また国際化や情報社会が進展する中で、日本社会の舵取りが困難を極めている。時代や社会的背景も異なるとはいえ、激変する経営環境に対応するために多くの学校法人で<生き残りのための競争>が顕在化し、教育研究の在り方が模索され、そのための学校経営が方向転換を迫られていることは、歴史の繰り返しを彷彿させる。

ところで、学院生活の後半の20年間余りは同窓等の方々との交流が多かった。学院創立100周年記念事業を担当していた頃、第一中央汽船の当時会長で、同窓会副会長に就任されていた故樺澤正雄先輩に大変お世話になった。時間に少し余裕があってお茶に誘われたことがあった。その席で樺沢さんが、「関学は本当にいい学校ですよ」と私にしみじみ語りかけるように自然体でおっしゃった時の、なにか熱く共感めいた感動を今も覚えている。最近、同窓の方々と懇談する機会も多く、樺沢大先輩の言葉を覚える機会に恵まれている。世代を越えても自然体で、「関学は本当にいい学校ですよ」とこのようにおっしゃる同窓の方々と心を通わしていると、学院を語る様々なキーワードはたくさんあるが、学院で学び、40数年間奉職した者としては、何か学院のスピリットの底流にでも触れる想いがする。学生諸君が多くの同窓と交流の機会を持たれることをお勧めしたい。

(学院本部調査役)

●秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む（2005年度～2009年度）

と き：11月30日（月）11:10～12:40（第Ⅱ限）

ところ：西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール

講 師：富樫匡孝（とがしまさたか）氏

（NPO自立生活サポートセンター・もやい、生活相談スタッフ）

題 目：「現代の日本の〈貧困〉が私たちに教えるもの」

主 催：関西学院大学

本講演会では手話通訳、パソコンテイクによる情報保障を予定しています。

また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご活用ください。

●第182回ランバス演奏会のご案内

「そよ風吹けば」イタリアとイギリスの愛の歌

平井満美子（ソプラノ）、佐野健二（リュート）

演 目：ロンドンデリー、ゴールデン・スランパー、東の門より、ほか

と き：12月3日（木）17:00開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。現在までに発売されたデュオCD 6点全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスではチャペルアワーを開催しています。

11月27日（金）樋口 進（宗教センター宗教主事）

いずれも18:00～18:20

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●書籍刊行のご案内

『キリスト教平和学事典』（2009年9月25日刊行）

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編、教文館

紛争、テロリズム、環境破壊、経済格差、差別問題、人権侵害、生命倫理問題——現代世界が直面する平和の諸問題をキリスト教の視点から分析し、キリスト者やキリスト教会が取り組むべき課題にどう対処していくかの理論と実践を解明。平和構築に向けた総理解を試みる画期的な事典。全144項目、各界から86名の寄稿。

<特長>・キリスト教の視点による日本初の平和学事典。

・平和学研究・平和運動の第一人者を迎えた多彩な執筆陣。

・各テーマを掘り下げた大項目が中心で読み応えある記述。

・表・図版・写真など、ビジュアル資料約50点収録。

・付録に関連年表および人名索引・事項索引を掲載。

【A 5判／448頁／定価8400円】 [ISBN 978-4-7642-4034-6 C3516]